

雪の予報

市川茂子

朝な夕な引きつ引かれつ犬の散歩をどちらが大変と見つつ思えり

街路樹の下にたむろする鳩のいて人を恐れず足元に寄る

次々に苔つばみの立ちてシクラメン窓辺に入日浴びて咲きゆく

元旦に供える銘酒「洗心」と言いて息子は今年も来たる

年明けて晴天つづき穏やかな天の恵みに人動きゆく

新春の初仕事らし青空にクレーンのアーム高々と立つ

雪の予報くり返されて仕舞いおく長ぐつ出だし埃を払う

花鉢をまとめてビニール傘を立て応急手当の雪囲いなる

予報より早く降りだす雪なれば混み合うスーパアのレジに並べり

宙に舞う雪の精なるきらめきよ地上に降りて踏みしだかるる